EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L1755U　EB-L1500UH
EB-L1750U　EB-L1495U
EB-L1505UH　EB-L1490U

目次

更新ファームフェアについて 4

ファームウェア Ver.2.00の概要 5
- オプション品に関する変更（Ver.2.00） 5
- メニュー項目に関する変更（Ver.2.00） 5
- ステータス情報に関する変更（Ver.2.00） 5
- 操作方法に関する変更（Ver.2.00） 5

ファームウェア Ver.2.10の概要 6
- ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.10） 6
- メニュー項目に関する変更（Ver.2.10） 6
- 操作方法に関する変更（Ver.2.10） 6

ファームウェア Ver.2.22の概要 7
- オプション品に関する変更（Ver. 2.22） 7

ファームウェア Ver.3.00の概要 8
- ソフトウェアに関する変更（Ver. 3.00） 8
- メニュー項目に関する変更（Ver.3.00） 8
- Art-Netチャンネル定義に関する変更（Ver.3.00） 8
- 操作方法に関する変更（Ver.3.00） 8

ファームウェア Ver.4.00の概要 10
- オプション品に関する変更（Ver. 4.00） 10
- ソフトウェアに関する変更（Ver. 4.00） 10
- メニュー項目に関する変更（Ver.4.00） 10

ファームウェア Ver.4.10の概要 11
- メニュー項目に関する変更（Ver.4.10） 11
- 操作方法に関する変更（Ver.4.10） 11

ファームウェア Ver.5.00の概要 12
- 操作方法に関する変更（Ver.5.00） 12

ファームウェアの変更詳細について 13

オプション品に関する変更の詳細（Ver. ） 14
- ELPLW08をサポート 14
- レンズシフトの移動範囲（ELPLW08） 14
- タテヨコ補正の補正範囲（ELPLW08） 14
- 曲面投写補正の補正範囲（ELPLW08） 14
- コーナー投写補正の補正範囲（ELPLW08） 15
- 投写距離（ELPLW08） 15

オプション品に関する変更の詳細（Ver. 2.22） 17
- ELPLU03Sをサポート 17

オプション品に関する変更の詳細（Ver. 4.00） 18
- ELPEC01をサポート 18
  - 外付けカメラを使用する 18

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.00） 19
- 光源キャリブレーション 19

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10） 20
- 使用した環境設定メニューの記憶 20
- アスペクト維持 20
- ログ保存先 20
- 全初期化(工場出荷状態) 21
- 全初期化(工場出荷状態) 22

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.3.00） 23
- カメラのエラーに関する詳細 23
- スクリーンマッチングの自動調整機能 23
- ポイント補正 23
- カラーマッチングの調整レベル 24
- カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え 24
- レンズキャリブレーションの実行履歴 25
- 明るさレベル 25

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.00） 26
- シンプルスタッキング 26
  - シンプルスタッキングの動作条件 27

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.10） 28
- コマンド通信、 Web API設定およびPJLink 28
- 全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定 29

ステータス情報に関する変更の詳細（Ver.2.00） 31
Temp Error FEとTemp Warning FE 31
Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00） 33
操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.00） 39
オンスクリーン表示の切り替え 39
操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.10） 40
レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整 40
操作方法に関する変更の詳細（Ver.3.00） 41
ポイント補正のポイント数変更 41
光源キャリブレーションの動作条件 41
操作方法に関する変更の詳細（Ver.4.10） 42
Web APIを使ってプロジェクターを操作 42
ポイント補正の最大値変更 42
Remoteパスワード設定の変更 42
Epson Web Controlの操作変更 42
Epson Projector Managementの操作変更 42
操作方法に関する変更の詳細（Ver.5.00） 44
スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき） 44
曲面補正機能（Epson Projector Professional Toolで調整するとき） 44

付録 46

一般のご注意 47
ご注意 47
商標について 47
著作権について 47

更新ファームフェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

関連項目

- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 p.5
- 「ファームウェア Ver.2.10の概要」 p.6
- 「ファームウェア Ver.2.22の概要」 p.7
- 「ファームウェア Ver.3.00の概要」 p.8
- 「ファームウェア Ver.4.00の概要」 p.10
- 「ファームウェア Ver.4.10の概要」 p.11
- 「ファームウェア Ver.5.00の概要」 p.12

ファームウェア Ver.2.00の概要

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「オプション品に関する変更（Ver.2.00）」 p.5
- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.00）」 p.5
- 「ステータス情報に関する変更（Ver.2.00）」 p.5
- 「操作方法に関する変更（Ver.2.00）」 p.5

オプション品に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- レンズユニットELPLW08

関連項目
- 「ELPLW08をサポート」 p.14

メニュー項目に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ［初期化］メニューに［光源キャリブレーション］を追加

関連項目
- 「光源キャリブレーション」 p.19

ステータス情報に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、ステータス情報に以下の変更があります。

- ステータス情報に［Temp Error FE］と［Temp Warnng FE］を追加

関連項目
- 「Temp Error FEとTemp Warning FE」 p.31

操作方法に関する変更（Ver.2.00）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンでも［オンスクリーン表示］をオンに設定できる

関連項目
- 「オンスクリーン表示の切り替え」 p.39

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.10）」 p.6
- 「メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）」 p.6
- 「操作方法に関する変更（Ver.2.10）」 p.6

ソフトウェアに関する変更（Ver. 2.10）

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.2

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- 使用した環境設定メニューを記憶し、前回使用した設定を素早く呼び出し可能
- ［設定］メニューに［アスペクト維持］を追加
- ［拡張設定］メニューに［ログ保存先］を追加
- ［初期化］メニューに［全初期化(工場出荷状態)］を追加

関連項目
- 「使用した環境設定メニューの記憶」 p.20
- 「アスペクト維持」 p.20
- 「ログ保存先」 p.20
- 「全初期化(工場出荷状態)」 p.22

操作方法に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができる

関連項目
- 「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」 p.40

ファームウェア Ver. 2.22での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「オプション品に関する変更（Ver. 2.22）」 p.7

オプション品に関する変更（Ver. 2.22）

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- レンズユニットELPLU03S

関連項目
- 「ELPLU03Sをサポート」 p.17

ファームウェア Ver.3.00での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「ソフトウェアに関する変更（Ver. 3.00）」 p.8
- 「メニュー項目に関する変更（Ver.3.00）」 p.8
- 「Art-Netチャンネル定義に関する変更（Ver.3.00）」 p.8
- 「操作方法に関する変更（Ver.3.00）」 p.8

ソフトウェアに関する変更（Ver. 3.00）

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.31

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更（Ver.3.00）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- カメラ機能のエラーが発生したときに、エラーの詳細を表示
- ［拡張設定］ > ［マルチプロジェクション］ > ［スクリーンマッチング］ > ［自動調整開始］の選択時に自動調整される設定項目に［ブレンド曲線］を追加
- ポイント補正機能の以下の項目を変更
  - 垂直方向、水平方向のポイント数をそれぞれ設定可能
  - ポイント数を最大33×33まで選択可能
  - ポイント補正の補間方式を、直線または曲線から選択可能
- ［拡張設定］ > ［マルチプロジェクション］ > ［スクリーンマッチング］ > ［カラーマッチング］の［調整レベル］に、［全体］を追加
- ［カラーキャリブレーション］に有効/無効の切り替えを追加
- ［レンズキャリブレーション］に［実行履歴］を追加
- ［設定］ > ［明るさ設定］ > ［明るさレベル］で、光源の明るさの最小値を［10%］まで設定可能

関連項目
- 「カメラのエラーに関する詳細」 p.23
- 「スクリーンマッチングの自動調整機能」 p.23
- 「ポイント補正」 p.23
- 「カラーマッチングの調整レベル」 p.24
- 「カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え」 p.24
- 「レンズキャリブレーションの実行履歴」 p.25
- 「明るさレベル」 p.25

Art-Netチャンネル定義に関する変更（Ver.3.00）

本バージョンでは、Art-Netチャンネル定義に以下の変更があります。

- チャンネル14［フリーズ］を追加
- チャンネル15［フェードイン］を追加
- チャンネル16［フェードアウト］を追加
- チャンネル17［光源制御］を追加

関連項目
- 「Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 p.33

操作方法に関する変更（Ver.3.00）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ポイント補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持される

- 光源キャリブレーションの動作条件を変更

関連項目

- 「ポイント補正のポイント数変更」 p.41
- 「光源キャリブレーションの動作条件」 p.41

ファームウェア Ver.4.00での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「オプション品に関する変更（Ver. 4.00）」 p.10
- 「ソフトウェアに関する変更（Ver. 4.00）」 p.10
- 「メニュー項目に関する変更（Ver.4.00）」 p.10

オプション品に関する変更（Ver. 4.00）

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- 外付けカメラELPEC01

関連項目
- 「ELPEC01をサポート」 p.18

ソフトウェアに関する変更（Ver. 4.00）

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Management Ver. 5.4
- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.4

詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』および『Epson Professional Projector Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更（Ver.4.00）

本バージョンでは、拡張設定メニューに以下の変更があります。

- ［マルチプロジェクション］に［シンプルスタッキング］を追加

関連項目
- 「シンプルスタッキング」 p.26

ファームウェア Ver.4.10での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「メニュー項目に関する変更（Ver.4.10）」 p.11
- 「操作方法に関する変更（Ver.4.10）」 p.11

メニュー項目に関する変更（Ver.4.10）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ［その他］に［コマンド通信］、［Web API設定］および ［PJLink］を追加
- ［全初期化(工場出荷状態)］に［全初期化(ユーザー初期値)］と［ユーザー初期値設定］を追加

関連項目
- 「コマンド通信、 Web API設定およびPJLink」 p.28
- 「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 p.29

操作方法に関する変更（Ver.4.10）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Web APIを使ってプロジェクターを操作できる
- より高い画素数までポイント補正ができる
- 以下の変更により、ネットワークセキュリティーを強化できる
  - ［Remoteパスワード］設定
  - Epson Web Control
  - Epson Projector Management

関連項目
- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 p.42
- 「ポイント補正の最大値変更」 p.42
- 「Remoteパスワード設定の変更」 p.42
- 「Epson Web Controlの操作変更」 p.42
- 「Epson Projector Managementの操作変更」 p.42

ファームウェア Ver.5.00での変更の概要を説明します。

関連項目
- 「操作方法に関する変更（Ver.5.00）」 p.12

操作方法に関する変更（Ver.5.00）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング＆ブレンディングが追加されます。
- Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

関連項目
- 「曲面補正機能（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）」 p.44
- 「スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）」 p.44

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「オプション品に関する変更の詳細（Ver. ）」 p.14
- 「オプション品に関する変更の詳細（Ver. 2.22）」 p.17
- 「オプション品に関する変更の詳細（Ver. 4.00）」 p.18
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 p.19
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 p.20
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 p.23
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.00）」 p.26
- 「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.10）」 p.28
- 「ステータス情報に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 p.31
- 「Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 p.33
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.00）」 p.39
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 p.40
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 p.41
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.4.10）」 p.42
- 「操作方法に関する変更の詳細（Ver.5.00）」 p.44

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

関連項目
- 「ELPLW08をサポート」 p.14

ELPLW08をサポート

ファームウェアをVer.2.00に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLW08が使用できます。レンズユニットELPLW08の仕様を説明します。

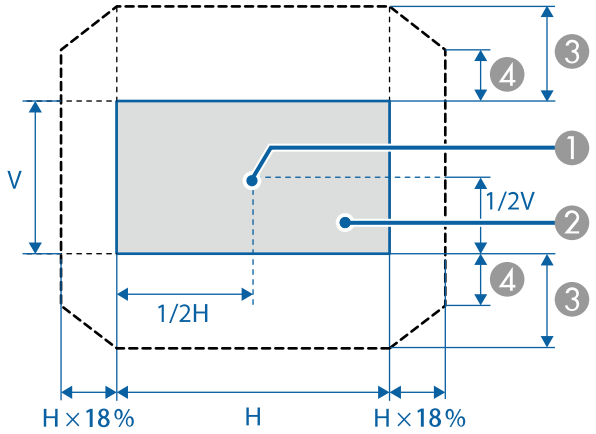
関連項目
- 「レンズシフトの移動範囲（ELPLW08）」 p.14
- 「タテヨコ補正の補正範囲（ELPLW08）」 p.14
- 「曲面投写補正の補正範囲（ELPLW08）」 p.14
- 「コーナー投写補正の補正範囲（ELPLW08）」 p.15
- 「投写距離（ELPLW08）」 p.15

レンズシフトの移動範囲（ELPLW08）

レンズシフトで映像を移動できる範囲は以下の通りです。

映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

EB-L1755U/EB-L1750U/EB-L1505UH/EB-L1500UH



1. レンズの中心
2. レンズの位置をホームポジションに移動したときの投写映像
3. 最大可動領域：V × 60%
4. 左右方向が最大値の場合：V × 31%

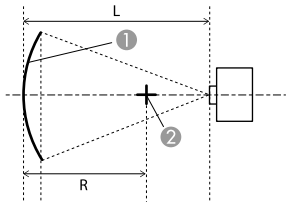
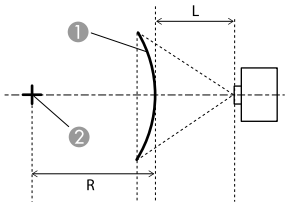
タテヨコ補正の補正範囲（ELPLW08）

以下の範囲内で、タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正できます。

- 垂直方向：-35° 〜 +35°
- 水平方向：-30° 〜 +30°

曲面投写補正の補正範囲（ELPLW08）

表内の数値は、図中のR/Lの最小値です。

凹面	凸面
	

❶ スクリーン

❷ 曲面を描く円の中心

L　投写距離

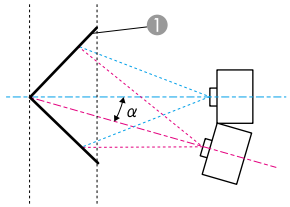
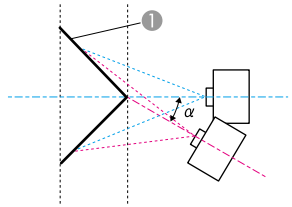
R　曲面を描く円の半径

EB-L1755U/EB-L1750U/EB-L1505UH/EB-L1500UH

	上下レンズシフト：ホームポジション（R/L）	上下レンズシフト：最上（R/L）
水平曲面（凹面）	0.39	0.40
水平曲面（凸面）	1.32	1.39
垂直曲面（凹面）	0.31	0.42
垂直曲面（凸面）	0.68	0.80

コーナー投写補正の補正範囲（ELPLW08）

図中のαは本機を移動できる最大角度です。

凹面	凸面
	

❶ スクリーン

α　プロジェクターの移動可能角度

EB-L1755U/EB-L1750U/EB-L1505UH/EB-L1500UH

	上下レンズシフト：ホームポジション	上下レンズシフト：最上
水平コーナー（凹面）	31°	16°
水平コーナー（凸面）	5°	5°
垂直コーナー（凹面）	32°	9°
垂直コーナー（凸面）	14°	N/A

投写距離（ELPLW08）

次の計算式で投写距離を算出できます。

詳細な投写距離のシミュレーションが可能なツールもあります。
https://www.epson.jp/products/bizprojector/simulator/

オプション品に関する変更の詳細（Ver.）

EB-L1755U/EB-L1750U/EB-L1505UH/EB-L1500UH

- スクリーンタイプが16:10または16:9の場合
  - 最短投写距離（ワイド）（cm）= スクリーン幅（cm）× 0.86
  - 最長投写距離（テレ）（cm）= スクリーン幅（cm）× 1.21
- スクリーンタイプが4:3の場合
  - 最短投写距離（ワイド）（cm）= スクリーン幅（cm）× 1.03
  - 最長投写距離（テレ）（cm）= スクリーン幅（cm）× 1.46

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

関連項目
- 「ELPLU03Sをサポート」 p.17

ELPLU03Sをサポート

ファームウェアをVer. 2.22に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLU03Sが使用できます。

ELPLU03Sは、既存のレンズユニットELPLU03と同仕様ですので、ELPLU03をELPLU03Sに置き換えて取扱説明書をお読みください。

ELPLU03Sの場合、レンズシフトで映像を移動できる範囲が上下方向最大約32%、左右方向最大約10%となります。ただし、信号によってはこの範囲内でも正しく表示されない場合があります（EB-L1755U/EB-L1750U/EB-L1505UH/EB-L1500UH/EB-L1495U/EB-L1490U）。

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

関連項目
- 「ELPEC01をサポート」 p.18

ELPEC01をサポート

ファームウェアをVer. 4.00に更新すると、お使いのプロジェクターで外付けカメラELPEC01が使用できます。

関連項目
- 「外付けカメラを使用する」 p.18

外付けカメラを使用する

オプションの外付けカメラを取り付けると、カメラアシスト機能やリモートカメラアクセスなどの拡張機能が使用できます。

拡張機能を使うことで、調整にかかる手間を軽減できます。

外付けカメラでは、一般的なカメラソリューションの利用に必要とされている下記のような作業が不要です。

- 設置場所の確保や画角調整などの事前準備
  プロジェクターまたはレンズユニットに取り付けて使用するため、三脚の用意や設置スペースの確保は不要です。また、ピントや画角、露光などの調整も不要です。
- アクティベーション
  Epson Projector Professional ToolやEpson Web Controlなどの無料のツールを導入するだけで、かんたんに拡張機能が利用できます。



Epson Projector Professional Toolのソフトウェアおよび取扱説明書はWebサイトよりダウンロードしてください。

epson.jp/download

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

関連項目
- 「光源キャリブレーション」 p.19

光源キャリブレーション

［初期化］メニューに［光源キャリブレーション］が追加されます。

変更前の初期化メニュー（Ver.1.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	メモリー全初期化	
	全初期化	

変更後の初期化メニュー（Ver.2.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	メモリー全初期化	
	光源キャリブレーション	今すぐ実行
		定期的に実行
		スケジュール設定画面へ
		最終実行日時
	全初期化	

［光源キャリブレーション］メニューでは、光源キャリブレーションに関する設定を行います。光源キャリブレーションを実行すると、光源の［ホワイトバランス］や［明るさレベル］のずれが補正されます。光源キャリブレーションは定期的に実行することをお勧めします。

- ［今すぐ実行］：光源キャリブレーションを開始します。
  以下の場合は開始できません。
  - プロジェクターの電源を入れて30分以内のとき
  - 使用する環境の温度が高く、光源の明るさが自動的に低下しているとき
- ［定期的に実行］：［オン］に設定すると、使用時間が100時間を経過するたびに［光源キャリブレーション］を行います。マルチプロジェクションで調整した投写映像を維持するために［オフ］を選択したときは、［今すぐ実行］で補正を実行するか、スケジュール機能で［光源キャリブレーション］を定期的に実行するよう設定してください。
- ［スケジュール設定画面へ］：スケジュール設定画面を表示します。［光源キャリブレーション］を定期的に実行するよう設定してください。
- ［最終実行日時］：［光源キャリブレーション］を最後に実行した日時を表示します。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「使用した環境設定メニューの記憶」 p.20
- 「アスペクト維持」 p.20
- 「ログ保存先」 p.20
- 「全初期化(工場出荷状態)」 p.22

使用した環境設定メニューの記憶

メニューを終了するときに、使用したメニュー設定を記憶します。前回使用したメニュー設定に再度素早くアクセスできます。

- 【メニュー】 ボタンを押して再度メニュー画面を表示すると、前回使用したメニュー設定が選択された状態で表示されます。

以下のメニューを操作した後は初期画面に戻ります。
- テストパターン
- フォーカス、ディストーション、ズーム、レンズシフト
- ガンマ
- 液晶アライメント
- ユーザーロゴ
- グルーピング、タイリング
- 黒レベル調整
- 日付/時刻設定
- ネットワーク設定
- 全初期化(工場出荷状態)

- 【戻る】ボタンを長押しすると、一番上の階層のメニュー画面を表示します。
- 本機の電源をオフにすると、メニュー操作は初期画面に戻ります。

アスペクト維持

［設定］メニューに［アスペクト維持］が追加されます。

変更前の設定メニュー（Ver.1.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリティー
			垂直リニアリティー

変更後の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリティー
			垂直リニアリティー
			アスペクト維持

アスペクト比を維持しながら映像の伸縮を補正するときは、［アスペクト維持］を［オン］に設定します。

ログ保存先

［拡張設定］メニューに［ログ保存先］が追加されます

変更前の拡張設定メニュー（Ver.1.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	アドバンスト	BNC同期終端
			リモコン種類
			確認音
			インジケーター表示
			ワンタッチオフ
			方向ボタン反転
			電源電圧監視
			レンズタイプ

変更後の拡張設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	アドバンスト	BNC同期終端
			リモコン種類
			確認音
			インジケーター表示
			ログ保存先
			ワンタッチオフ
			方向ボタン反転
			電源電圧監視
			レンズタイプ

本機の動作ログの保存先を設定します。

- USBメモリーにログを保存するときは［USBおよび内部メモリー］を選択します。
- プロジェクターの内部メモリーのみにログを保存するときは［内部メモリー］を選択します。

全初期化(工場出荷状態)

［初期化］メニューに［全初期化(工場出荷状態)］が追加されます。

変更前の初期化メニュー（Ver.1.00、Ver.2.00）

Ver.2.00で追加された光源キャリブレーションを参照してください。

変更後の初期化メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	メモリー全初期化	
	光源キャリブレーション	今すぐ実行
		定期的に実行
		スケジュール設定画面へ
		最終実行日時
	全初期化	
	全初期化(工場出荷状態)	

［全初期化(工場出荷状態)］では、本機のすべての設定を初期化します。

ただし、［日付＆時刻］、［使用時間］、［光源情報］、パスワードプロテクトされている項目とそのパスワードは初期化されません。

初期化するには初期化専用のパスワードが必要です。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。

初期化するには初期化専用のパスワードが必要です。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。

全初期化(工場出荷状態)

［初期化］メニューに［全初期化(工場出荷状態)］が追加されます。

変更前の初期化メニュー（Ver.1.00、Ver.2.00）

Ver.2.00で追加された光源キャリブレーションを参照してください。

変更後の初期化メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	メモリー全初期化	
	光源キャリブレーション	今すぐ実行
		定期的に実行
		スケジュール設定画面へ
		最終実行日時
	全初期化	
	全初期化(工場出荷状態)	

［全初期化(工場出荷状態)］では、本機のすべての設定を初期化します。

ただし、［日付＆時刻］、［使用時間］、［光源情報］、パスワードプロテクトされている項目とそのパスワードは初期化されません。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「カメラのエラーに関する詳細」 p.23
- 「スクリーンマッチングの自動調整機能」 p.23
- 「ポイント補正」 p.23
- 「カラーマッチングの調整レベル」 p.24
- 「カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え」 p.24
- 「レンズキャリブレーションの実行履歴」 p.25
- 「明るさレベル」 p.25

カメラのエラーに関する詳細

変更後のエラー表示（Ver.3.00）

カメラ機能のエラーが発生したときに、エラーの詳細を表示します。

エラーコード	状態
0x01	測定値異常
0x02	測定失敗
0x03	カメラ切替失敗

カメラ機能の動作条件について詳しくは、プロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

スクリーンマッチングの自動調整機能

［拡張設定］ > ［マルチプロジェクション］ > ［スクリーンマッチング］ > ［自動調整開始］の選択時に自動調整される設定項目に［ブレンド曲線］が追加されます。

変更前の設定項目（Ver.2.10）

［明るさ設定］、［黒レベル調整］（［カラー調整］のみ）

変更後の設定項目（Ver.3.00）

［明るさ設定］、［黒レベル調整］（［カラー調整］のみ）、［ブレンド曲線］

ポイント補正

ポイント補正機能の以下の項目が変更されます。

- 垂直方向、水平方向のポイント数をそれぞれ設定できます。
- ポイント数を最大33×33まで選択できます。
- ポイント補正の補間方式を、直線または曲線から選択できます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

メニュー	設定値
ポイント補正	[3x3]、[5x5]、[9x9]、[17x17]
パターン色	
初期化	

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

メニュー	設定値
ポイント補正	
ポイント(タテ)	[3]、[5]、[9]、[17]、[33]
ポイント(ヨコ)	
パターン色	

メニュー	設定値
補間方式	直線、曲線
初期化	



すでに［ポイント補正］で補正しているときは、補正量が多いと補間方式を変更できないことがあります。

カラーマッチングの調整レベル

［拡張設定］ > ［マルチプロジェクション］ > ［スクリーンマッチング］ > ［カラーマッチング］の［調整レベル］に、［全体］が追加されます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

サブメニュー		項目または設定値
カラーマッチング	調整レベル	1、2、3、4、5、6、7、8

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

サブメニュー		項目または設定値
カラーマッチング	調整レベル	全体、1、2、3、4、5、6、7、8

白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。［全体］を選択すると、［調整レベル］2～8の各色の色味を一括で調整できます。（いずれかのレベルで赤、青、緑の値が最大または最小になると、それ以上は調整できません。それぞれのレベルを個別に調整するときは［調整レベル］1～8を選択してください。

カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え

［カラーキャリブレーション］に有効/無効の切り替えが追加されます。カラーキャリブレーションの自動調整を実行するには、［カラーキャリブレーション］を［オン］に設定します。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	カラーキャリブレーション	自動調整開始
		元に戻す
		やり直し
		ユニフォーミティー
		初期化

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	カラーキャリブレーション	カラーキャリブレーション	オン、オフ
		自動調整開始	
		元に戻す	
		やり直し	
		ユニフォーミティー	
		初期化	

レンズキャリブレーションの実行履歴

［レンズキャリブレーション］に［実行履歴］が追加されます。レンズキャリブレーションの実行履歴を確認できます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	レンズキャリブレーション	開始

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	レンズキャリブレーション	開始、実行履歴

明るさレベル

［設定］ > ［明るさ設定］ > ［明るさレベル］で、光源の明るさの最小値を［10%］まで設定できます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー		設定値
設定	明るさ設定	明るさレベル	100%～30%

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー		設定値
設定	明るさ設定	明るさレベル	100%～10%

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

関連項目
- 「シンプルスタッキング」 p.26

シンプルスタッキング

［拡張設定］ > ［マルチプロジェクション］に［シンプルスタッキング］が追加されます。

変更前の拡張設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		スクリーンマッチング
		初期化

変更後の拡張設定メニュー（Ver.4.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		スクリーンマッチング
		シンプルスタッキング
		初期化

［シンプルスタッキング］では、複数のプロジェクターからの映像を1つに重ねた明るい映像をすばやく簡単に作成するための設定をします。

- ［ポイント補正］: 投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に0.5画素ずつ移動させることで映像のゆがみを補正します。細部のゆがみが気になるときに、局所的に調整できます。
- ［自動調整開始］: カメラアシスト機能を使って投写映像を自動で調整します。機能を実行するプロジェクターがマスタープロジェクターとなり、投写位置や形状の基準になります。

- 2台のプロジェクターはLANケーブルで直接接続してください。
- 事前に以下を実施してください。
  - 両方のプロジェクターで［ネットワーク］メニューの［DHCP］を［オン］に設定します。
  - マスタープロジェクターが投写する映像の位置、形状、ピントを調整します。マスタープロジェクターからの映像の形状は、［ポイント補正］の［Quick Corner］で調整してください。
  - シンプルスタッキングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約4分かかります。

関連項目

• 「シンプルスタッキングの動作条件」 p.27

シンプルスタッキングの動作条件

ンプルスタッキングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

使用するすべてのプロジェクターそれぞれに外付けカメラ、または内蔵カメラが搭載されている

使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している

そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している

投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている

· 外付けカメラや投写映像を遮っていない

· 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である（スクリーン照度が40ルクス以下の場合、プロジェクター１台あたり、以下の投写サイズが推奨値）

- 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
- 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ
- 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
- 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
- 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
- 30Klm：100インチ～500インチ

- すべてのプロジェクターが同じ解像度である
- ［拡張設定］メニューの［設置モード］がすべてのプロジェクターで［フロント］または［フロント・天吊り］に設定されている

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「コマンド通信、 Web API設定およびPJLink」 p.28
- 「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 p.29

コマンド通信、 Web API設定およびPJLink

［ネットワーク］ > ［その他］に［コマンド通信］、［Web API設定］および ［PJLink］が追加されます。

変更前のネットワークメニュー（Ver.4.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		優先ゲートウェイ
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

変更後のネットワークメニュー（Ver.4.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	コマンド通信
		セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		Web API設定
		優先ゲートウェイ
		PJLink
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

［コマンド通信］

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

［プロテクト］

ダイジェスト認証を用いて［Web制御パスワード］で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

［互換］

Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）を用いた平文認証を行うときに選択します。

Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは、［互換］を選択してください。

［**Web API設定**］
Web APIで通信するときの設定をします。

［**Web API**］
Web APIでプロジェクターを制御するときは［オン］に設定します。

［**認証タイプ**］
Web API通信を行うときの認証方法を設定できます。

- ［Open］
  認証を行いません。
- ［Digest］
  API認証（ダイジェスト認証）を使用します。



詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。

［**PJLink**］
［オン］に設定すると、PJLinkコマンドを使用して本機を制御できます。

全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定

［初期化］ > ［全初期化(工場出荷状態)］に［全初期化(ユーザー初期値)］と［ユーザー初期値設定］が追加されます。

変更前の初期化メニュー（**Ver.4.00**）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(工場出荷状態)

変更後の初期化メニュー（**Ver.4.10**）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(ユーザー初期値)
		全初期化(工場出荷状態)
		ユーザー初期値設定

［**全初期化(ユーザー初期値)**］
［ユーザー初期値設定］で指定した設定値を反映します。

［**ユーザー初期値設定**］
［全初期化(ユーザー初期値)］を実行するときに反映させる値を設定します。

以下の設定の初期値を設定できます。

- ［光源モード］
- ［明るさレベル］
- ［一定モード］
- ［A/V出力設定］
- ［待機モード］
- ［スタンバイ確認］
- ［メッセージ表示］
- ［確認音］
- ［スリープモード］
- ［シャッタータイマー］
- ［シャッター解除］
- ［カラーモード］
- ［無線電源］
- ［DHCP］（［有線LAN］メニュー）

メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.10）

- ［コマンド通信］

ステータス情報に関する変更の詳細（Ver.2.00）

ステータス情報に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「Temp Error FEとTemp Warning FE」 p.31

Temp Error FEとTemp Warning FE

ステータス情報に［Temp Error FE］と［Temp Warnng FE］が追加されます。

変更前のステータス情報（System）（Ver.1.00）

カテゴリー	項目	状態
Status Information	System	OK
		Warm-Up
		Standby
		Cool Down
		Temp Error
		Fan Error
		Sensor Error
		Power Error
		Internal Error
		Airflow Error
		Temp Warning
		Internal Warning
		Airflow Decline
		Power Warning
		Clean Filter
		Lens Error
		Laser Error
		Laser Warning

変更後のステータス情報（System）（Ver.2.00）

カテゴリー	項目	状態
Status Information	System	OK
		Warm-Up
		Standby
		Cool Down
		Temp Error
		Fan Error
		Sensor Error
		Power Error
		Internal Error
		Airflow Error
		Temp Warning
		Internal Warning
		Airflow Decline
		Power Warning
		Clean Filter
		Lens Error
		Laser Error
		Laser Warning

ステータス情報に関する変更の詳細（Ver.2.00）

カテゴリー	項目	状態
		Temp Error FE
		Temp Warning FE

新しいステータスの意味は以下のとおりです。

- ［Temp Error FE］：レーザーの温度超過によるレーザー異常です。
- ［Temp Warning FE］：レーザーの温度超過によるレーザー警告です。

Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00）

Art-Netチャンネル定義の変更に関する詳細を説明します。

変更前のArt-Netチャンネル定義（Ver.2.10）

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
1	光量調整（Dimming）	0% - 100%		0 - 255	0	映像の明るさを設定します。
2	A/V ミュート制御	A/V ミュート	オフ	0 - 63	128	A/V ミュートを無効/有効にします。
		無操作		64 - 191		
		A/V ミュート	オン	192 - 255		
3	ソース切替	無操作		0 - 7	0	指定したソースに切替えます。
		HDMI		8 - 15		
		無操作		16 - 23		
		HDBaseT		24 - 31		
		DVI-D		32 - 39		
		無操作		40 - 47		
		SDI		48 - 55		
		コンピューター		56 - 63		
		無操作		64 - 71		
		BNC		72 - 79		
		LAN		80 - 87		
		無操作		88 - 95		
		無操作		96 - 255		

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
4	レンズ位置	無操作		0 - 31	0	レンズシフトをホームポジションに移動します。
		ホームポジション移動		32 - 63		
		無操作		64 - 255		
5	水平レンズシフト	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて水平レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
6	垂直レンズシフト	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて垂直レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
7	電動ズーム	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動ズームを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
8	電動フォーカス	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
9	電動ディストーション	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動ディストーションを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	レンズメモリー呼出	無操作	0 - 15	0	指定したレンズメモリーを呼び出します。
		レンズメモリー1 呼出	16 - 31		
		レンズメモリー2 呼出	32 - 47		
		レンズメモリー3 呼出	48 - 63		
		レンズメモリー4 呼出	64 - 79		
		レンズメモリー5 呼出	80 - 95		
		レンズメモリー6 呼出	96 - 111		
		レンズメモリー7 呼出	112 - 127		
		レンズメモリー8 呼出	128 - 143		
		レンズメモリー9 呼出	144 - 159		
		レンズメモリー10 呼出	160 - 175		
		無操作	176 - 255		
11	電源制御	電源オフ	0 - 63	128	プロジェクターの電源をオン/オフします。
		無操作	64 - 191		
		電源オン	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
12	幾何学補正	オフ	0 - 15	255	幾何学補正を実行します。
		タテヨコ	16 - 31		
		Quick Corner	32 - 47		
		ポイント補正	48 - 63		
		曲面投写補正	64 - 79		
		コーナー投写補正	80 - 95		
		幾何学補正メモリー1 呼出	96 - 111		幾何学補正メモリーを呼び出します。
		幾何学補正メモリー2 呼出	112 - 127		
		幾何学補正メモリー3 呼出	128 - 143		
		無操作	144 - 175		
13	ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
		操作可能	128 - 255		

変更後のArt-Netチャンネル定義（Ver.3.00）

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
1	光量調整（Dimming）	0% - 100%	0 - 255	0	映像の明るさを設定します。

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
2	A/V ミュート制御	A/V ミュート	オフ	0 - 63	128	A/V ミュートを無効/有効にします。
		無操作		64 - 191		
		A/V ミュート	オン	192 - 255		
3	ソース切替	無操作		0 - 7	0	指定したソースに切替えます。
		HDMI		8 - 15		
		無操作		16 - 23		
		HDBaseT		24 - 31		
		DVI-D		32 - 39		
		無操作		40 - 47		
		SDI		48 - 55		
		コンピューター		56 - 63		
		無操作		64 - 71		
		BNC		72 - 79		
		LAN		80 - 87		
		無操作		88 - 95		
		無操作		96 - 255		
4	レンズ位置	無操作		0 - 31	0	レンズシフトをホームポジションに移動します。
		ホームポジション移動		32 - 63		
		無操作		64 - 255		

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
5	水平レンズシフト	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて水平レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
6	垂直レンズシフト	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて垂直レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
7	電動ズーム	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動ズームを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
8	電動フォーカス	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
9	電動ディストーション	（+）レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて電動ディストーションを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		（-）レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	レンズメモリー呼出	無操作	0 - 15	0	指定したレンズメモリーを呼び出します。
		レンズメモリー1 呼出	16 - 31		
		レンズメモリー2 呼出	32 - 47		
		レンズメモリー3 呼出	48 - 63		
		レンズメモリー4 呼出	64 - 79		
		レンズメモリー5 呼出	80 - 95		
		レンズメモリー6 呼出	96 - 111		
		レンズメモリー7 呼出	112 - 127		
		レンズメモリー8 呼出	128 - 143		
		レンズメモリー9 呼出	144 - 159		
		レンズメモリー10 呼出	160 - 175		
		無操作	176 - 255		
11	電源制御	電源オフ	0 - 63	128	プロジェクターの電源をオン/オフします。
		無操作	64 - 191		
		電源オン	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
12	幾何学補正	オフ	0 - 15	255	幾何学補正を実行します。
		タテヨコ	16 - 31		
		Quick Corner	32 - 47		
		ポイント補正	48 - 63		
		曲面投写補正	64 - 79		
		コーナー投写補正	80 - 95		
		幾何学補正メモリー1 呼出	96 - 111		幾何学補正メモリーを呼び出します。
		幾何学補正メモリー2 呼出	112 - 127		
		幾何学補正メモリー3 呼出	128 - 143		
		無操作	144 - 175		
13	ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
		操作可能	128 - 255		
14	フリーズ	無操作	0 - 31	128	映像を一時停止/解除します。
		フリーズオフ	32 - 95		
		無操作	96 - 159		
		フリーズオン	160 - 223		
		無操作	224 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
15	フェードイン	0.0s	0 - 15	255	シャッター解除時のフェードイン時間設定
		0.5s	16 - 31		
		1.0s	32 - 47		
		1.5s	48 - 63		
		2.0s	64 - 79		
		2.5s	80 - 95		
		3.0s	96 - 111		
		3.5s	112 - 127		
		4.0s	128 - 143		
		5.0s	144 - 159		
		7.0s	160 - 175		
		10.0s	176 - 191		
		無操作	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
16	フェードアウト	0.0s	0 - 15	255	シャッター解除時のフェードアウト時間設定
		0.5s	16 - 31		
		1.0s	32 - 47		
		1.5s	48 - 63		
		2.0s	64 - 79		
		2.5s	80 - 95		
		3.0s	96 - 111		
		3.5s	112 - 127		
		4.0s	128 - 143		
		5.0s	144 - 159		
		7.0s	160 - 175		
		10.0s	176 - 191		
		無操作	192 - 255		
17	光源制御	0% - 100%	0 - 255	100	光源を制御します。



チャンネル17の光源制御を実行すると、チャンネル2のA/Vミュートが無効になります。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「オンスクリーン表示の切り替え」 p.39

オンスクリーン表示の切り替え

次の方法でオンスクリーン表示の設定を切り替えられます。

変更前の操作方法（Ver.1.00）

リモコンの、［オンスクリーン表示］を割り当てた【ユーザー】ボタンを押すたびに、メニューやメッセージなどの表示/非表示が切り替わります。

変更後の操作方法（Ver.2.00）

リモコンの、［オンスクリーン表示］を割り当てた【ユーザー】ボタンを押すたびに、メニューやメッセージなどの表示/非表示が切り替わります。

操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを3 秒間長押しして、非表示の設定を表示に変更することもできます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」p.40

レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができます。

変更前のフォーカス調整（Ver.1.00）

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整をすると、メッセージは消去されます。

変更後のフォーカス調整（Ver.2.10）

レンズキャリブレーションメッセージを消去せずにリモコンまたは操作パネルの【▲】【▼】ボタンを押してフォーカスを調整できます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

関連項目
- 「ポイント補正のポイント数変更」 p.41
- 「光源キャリブレーションの動作条件」 p.41

ポイント補正のポイント数変更

ポイント補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持されます。

変更前の補正中のポイント数変更（Ver.2.10）

補正中にポイント数を変更すると、再度補正が必要です。

変更後の補正中のポイント数変更（Ver.3.00）

補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持されます。

光源キャリブレーションの動作条件

光源キャリブレーションの動作条件が追加されます。

変更前の光源キャリブレーション（Ver. 2.00）

Ver.2.00で追加された光源キャリブレーションを参照してください。

変更後の光源キャリブレーション（Ver. 3.00）

以下の場合は光源キャリブレーションを実行できません。

- ［画質］ > ［光源制御］の設定や、A/Vミュート機能により、光源の明るさが一定以下になっているとき。
- プロジェクターの電源を入れて10分以内。
- ［設定］ > ［明るさ設定］ > ［明るさレベル］を［30%］以下に設定しているとき。
  （使用する環境温度によっては、設定以上の明るさでも動作しないことがあります。）

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 p.42
- 「ポイント補正の最大値変更」 p.42
- 「Remoteパスワード設定の変更」 p.42
- 「Epson Web Controlの操作変更」 p.42
- 「Epson Projector Managementの操作変更」 p.42

Web APIを使ってプロジェクターを操作

Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。また、ESC/VP21コマンドの一部はWeb APIで実行することができます。詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。

- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は**EPSONWEB**、パスワードは［Web制御パスワード］で設定されているパスワードを入力してください。

ポイント補正の最大値変更

ポイント補正の最大値が拡大されます。広範囲でポイント補正ができるため、異なった形状のスクリーンへの投写が可能になります。

変更前のポイント補正量（Ver.4.00）

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大32画素まで補正できます。

変更後のポイント補正量（Ver.4.10）

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大600画素まで補正できます。

Remoteパスワード設定の変更

プロジェクターの［ネットワーク］メニュー > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［基本設定］の［Remoteパスワード］設定が変更され、ネットワークセキュリティーが強化されます。

変更前のRemoteパスワード設定（Ver.4.00）

半角英数字で最大8文字まで入力できます。

変更後のRemoteパスワード設定（Ver.4.10）

半角英数字で最大32文字まで入力できます。

Epson Web Controlの操作変更

Epson Web Control 設定が変更され、ネットワークセキュリティーが強化されます。

- ［Monitorパスワード］はEpson Web Controlでのみ、［コマンド通信］が［互換］の時だけに設定できます。
- Web Controlパスワードとして、デフォルトパスワードの**admin**が設定されているときは、Epson Web Controlの［詳細設定］画面を開く前にパスワード設定画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを変更してください。
  プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。

Epson Projector Managementの操作変更

ファームウェアをVer.4.10以降にアップデートした後に、 Epson Projector Managementで認証エラーが起きるときは、以下のいずれかをお試しください。

- Web Controlパスワードがわかるときは、Epson Projector Management のメイン画面で、複数の対象プロジェクターを選択し、［編集］メニュー > ［プロパティー］を開いて、［Web Controlパスワード］を入力します。
- Web Controlパスワードがわからないときは、プロジェクターの［ネットワーク］メニュー > ［ネットワーク設定画面へ］ > ［基本設定］ > ［Web Controlパスワード］を開いて、［Web Controlパスワード］を変更し、Epson Projector Managementで［Web Controlパスワード］を入力します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

関連項目

- 「スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）」 p.44
- 「曲面補正機能（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）」 p.44

スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）

Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング＆ブレンディングが追加されます。［幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンディング機能］ウィザードを使うと、複数のプロジェクターからの投写映像をつなげたり重ねたりして、ひとつなぎの大きな明るい映像を簡単に作成できます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

1. Epson Projector Professional Toolを起動します。
2. ［レイアウト/監視］タブでスタッキング&ブレンディングに対応しているプロジェクターをグループ化します。
3. ［グループ作成］画面で［ブレンディング・スタッキング設定］を選択します。
4. ［ブレンディング・スタッキング設定］で、プロジェクターの位置を指定します。
5. ［幾何学歪み補正アシスト スタッキング＆ブレンディング機能］ウィザードを起動します。

必要に応じて、以下を行ってください。

- ［スクリーンマッチング］：投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
- ［ポイント補正］：投写映像の画素ずれを調整します。

曲面補正機能（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

変更前の投写画面の合成（Ver.4.10）

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面のみに対応していました。

変更後の投写画面の合成（Ver.5.00）

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、以下の機能も曲面に対応します。

- スクリーンマッチング（凸面は対応していません）
- カラーキャリブレーション
- ブレンディング
- スタッキング
- スタッキング &ブレンディング

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

カメラアシスト機能で曲面に投写した映像を補正する場合は、次の内容を確認してください。

- グループ内のすべてのプロジェクターが曲面補正機能に対応していること
- 本ソフトウェアによる投写映像の自動調整を実行する前に、スクリーン全体に対するリニアリティーの位置を決めて、スクリーン上にリニアリティー調整の目印となるシールなどを貼り付けること
- リニアリティー調整用のシールは投写面に対して等間隔に貼り付けること
- ［幾何学歪み補正アシスト］ウィザードの形状補正時に、補正ポイントの数と位置をリニアリティー調整用のシールに合わせること

付録

次の点にご留意ください。

» 関連項目

- 「一般のご注意」 p.47

次の点にご留意ください。

関連項目

- 「ご注意」 p.47
- 「商標について」 p.47
- 「著作権について」 p.47

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2018.09 413730900JA

Rev.1.1 2019.02 413730901JA

Rev.1.2 2019.10 413730902JA

Rev.1.3 2021.01 413730903JA

Rev.1.4 2021.08 413730904JA

Rev.1.5 2021.11 413730905JA

Rev.1.6 2022.02 413730906JA

Rev.1.7 2023.07 413730907JA